

木馬会会報 (第 1 4 7 号)

* 有馬記念特集 *

00/12/22

～木馬達の予想～

栄蔵の一番弟子 T P

オペラオーはここで勝てば史上最強馬という声も聞こえるだろう。強力なライバルがいないという点は減点かもしれないが(といって、ナリタブにライバルがいたかとなると?だし、本当に強い馬にはライバルはいないものなのかもしれない)、それでも1年負けなしG15勝なんてダビスタでだって、リセットなしではかなり難しい。ライバル云々の議論はあってもこの馬自身の強さは際立っている。第一に、決して一流騎手ではない和田が乗っての全勝である点。第二に、もともと調子の浮き沈みの激しい栗毛(テンポイント、サッカーボーイ、グラスワンダー等を思い起こしてもらえれば)でありながらの連勝である点。つまり、これまでの7連勝中に当然調子の悪いときもあっただろうに、それでも勝ってきたというのは他の馬に比べて実力が2枚ぐらい上手だという証明だろう。並んで強く、上がりの勝負でも切れるし、掛かることもなく道悪も上手い。欠点が全くない。ここでも、目に見えない疲労と故障だけが心配なだけ。

J C最先着馬は不振という定説があるが、去年それは覆されたし、天皇賞、J Cとジंकスを打ち破ってきたオペラオーだけに、ここもクリアしそう。それより心配なのは、ファンタスティックライトと壮絶な2着争いをしたMドトウの方。もともと距離もベストは2000のはず(J Cは2000がベストの馬でもこなせることは過去の実績から明か)で、目下6連続連対中で無視はできないが、今回は崩れる可能性があるのではないか。

では2着争いは?ということになるが、実績からは菊花賞1, 2着馬のナリタ、トーホウになるだろう。ナリタは的場に乗り変わったのが大きくプラス材料なのは確かだが、前走があまりにふがいない。条件クラスの馬ばかりの中で4着。今年はG1で連対がないし、前走の走りっぷりからも一変は望みにくい。トーホウは堅実なB T産駒で、今後成長の可能性があるが、その年の菊花賞2着馬はここ10年有馬での連対はない。結局2着2着。来年の成長待ちというのが冷静な評価だろう。

というように、実績馬に崩れる可能性が多いと感じているので、2着は何がきてもおかしくないと考えている。そこで注目したいのは展開面。多分、ホットが大逃げし、2番手にジョー。そのあとにトーホウ、ナリタ、ドトウ、ゴーイングなどがごった返すだろう。オペラオーはここまでくれば、自分の競馬に徹するはずで、他の馬はオペラオーの動きに合わせて動き出すだろう。M、Hペースの場合、面白いのはホット、ジョー。ホットは元々ペイントドブラックを2度にわたって下したことで、馬なのでクラシックに出れないのが悔やまれた馬。逃げたときのしぶとさは特筆物。スタミナも豊富だし、セイウンスカイ以降、追い込みよりも逃げ馬での活躍が目立つようになったノリへの変更も今回はプラスに働きそう。ジョーも先行してのしぶとさは宝塚で実証済み。また、去年の函館記念以降、まだ底を見せていない点も魅力を感じている。逃げる形の2番手になれば面白い。もしSペースになったら、面白いのはキンノホシ。530キロの巨体にかかわらず、上がり34秒前半での差足が生きる流れが得意。まだ精神的な脆さが残るが、流れに乗れば侮れない。

ボスは実質的なオープン馬2頭のセントライト記念を夏場使ってきた強みで勝ったが、前走の惨敗が現時点での力。ステイはさすがに7歳になった今年はG1では惨敗が目立ち、もはや上がり目はない。ツヨシは順調さを欠いたのを払拭するほどの実力はないだろう。オウドウは追い込めるレース展開になったら面

白いかも、と思ったが、掛かり癖と、遠征でのイレ込みが付きまとい、それでは中山の2500では力を出せないと判断。

とは狙ってみるが、当然すんなり決まっても何らおかしくはなく、多分◎○▲の3点買いを少しするくらいだろう。

◎…ティエムオペラオー ○…ホットシークレット ▲…ジョービッグバン

△…メイショウドトウ、マチカネキンノホシ、トーホウシデン、ナリタトップロード

先週は土日で4レースやり、軸にした馬がすべて1着(8, 1, 4, 1番人気)で、回収率アップ。最終週での100%超えも現実的な数字になっている。最後のレースに勝負をかける。現在の回収率94.9%

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎：ティエムオペラオー、○：ツルマルツヨシ、▲：メイショウドトウ

△：ナリタトップロード、トーホウシデン

オペラオーには疲れはないのか? JCは久しぶりに目一杯のレースをしたと思う。そろそろ目に見えない疲れが出てもおかしくない頃である。上積みがあるかと言われればないだろう。しかし、“普通”の状態でありさえすれば、既に勝負付けが済んでいるメンバーなのだから負けるはずがない。結局、有馬記念もこの馬以外に◎は考えられない。負けてはいけな馬になってしまった。

さて、相手だが宝塚・秋天・JCとオペラオーの2着で他の馬には負けてないドトウが筆頭なのだろうが、こちらもオペラオーと同じステップで上積みは考えにくい。距離が不安視されたJCもこなしたことで、現役No.2であることは間違いないのだろうが、以下により3番手まで。

さて、その相手だが、ツルマルツヨシ。虚弱体質のため使い込めないが、有馬一本に絞って調整して狂いはないとみる。昨年の有馬では、あわや勝ったかに思えたが、グラス・スペシャル・ティエムに差され4着。レース後藤田が来年は負けない馬になると言っていたのが忘れられない。

以下は、まずトップロード。5歳になってからはオペラオーと成長力の差なのか、さっぱりだが、渡辺の腕も影響しているのは事実。中山2500mを熟知した的場に乗り替わるのはプラスにこそなれマイナスは無いはずで、“マーク屋”の本領を発揮すれば、今回か。良くて2着だろうが。次に、4歳トーホウシデン。今年の4歳はレベルが低いと言われつつづけたが、ここへきてやっと古馬相手にも重賞で連絡みするようになってきた。勝春が不安と言え不安だが、菊→有馬はJC組よりローテ的にも有利。

トゥインクルダンディ

◎ナリタトップロード ○ティエムオペラオー ▲メイショウドトウ

△ダイワテキサス、ステイゴールド、マチカネキンノホシ、ホットシークレット

1番人気のジंकスも左回りへの懸念もアッサリ蹴してみせた天皇賞、J Cの勝ちっ振り・・・強いものは強い。王者ティエムオペラオーが負けるとは正直思わない。それでも今回は本命にしない。私の天邪鬼のなせる業とは思いますが・・・

あえて負けるかもしれない理由をあげよう。それはやっぱり前走の反応の悪さ。これを勝手に解釈すれば、

想定外の参戦で急仕上げだった京都大賞典→一叩きして完璧に仕上がった天皇賞→わずかながらにピークを過ぎたJC→さらに状態劣化の有馬記念となる。

そこでここはナリタトップロードで勝負だ。仮にもテイエムを2回勝っている同馬。今年の不甲斐なさを考えれば同馬に有馬での復活を期待するのは酷かもしれないが、そこは鞍上の場。馬を壊してでも勝ちにくる彼なら何かしてくれそうな気がする。

逃げ馬好きの私としては、頑張ってほしいのがホットシークレット。メジロパーマー並みの逃げを見せてほしいものだ。

～鈍才！洋二郎の無い知恵絞～

予想というより、馬券の話をさせていただきます。今回の有馬、あまりにもテイエムの人気がかぶるでしょうから、テイエムから買っても、儲からない気がしますね。といっても、いつもやってしまうんですが、穴馬から馬券を買うと全然当たらず、「やっぱり、強い馬は強いんだよな…」と妙に納得してしまう始末。が、これに懲りずに、有馬もホットシークレットから買います。テイエムとトーハウシデンへ多めに、ドトウ、ボス、トップロードも押さえます。ひょっとしたら、トーハウシデンからも少し買うかもしれません。あんだだけ強いテイエムですから、まともに競馬をしても、勝てる馬は、そんなにいないと思います。テイエムに勝つ一番有り得そうなレースというのは、ホットシークレットのような馬が大逃げを打って、まんまと逃げ切る、というものではないでしょうか。予想の上では、もう少しまともに、以下のようにします。

◎ホットシークレット、テイエムオペラオー △トーハウシデン、メイショウドトウ、ナリタトップロード

予想はウソヨ 四国の井崎

自慢ではないですが有馬記念は10年以上当たっていません。だから勝負はしません。観戦料程度の馬券しか買いません。

有馬記念のタイム評価の黒字は3頭で、-0.2秒までを圈内馬とすると次のようになります。

メイショウドトウ	-0.3	-0.6	+0.1	A
テイエムオペラオー	-1.4	-0.2	+0.1	B
メイショウオウドウ	-3.0	-1.3	+0.2	C
ツルマルツヨシ	-0.1	-3.1	-0.5	
キングヘイロー	-0.6	-1.9	-0.2	
ジョービッグバン	-0.2	-1.5	-1.4	

まず勝ち馬はこの中から出るでしょう。

テイエムは今週も競馬ブックの表紙を飾りました。表紙を飾った馬は来ない！というジンクスを信じて2回切って捨てて裏切られています。もう1回外そうと考えております。楽勝だった天皇賞と比較すると、JCは4角手前から必死で勝ちにいったのでスローペースでの直線の瞬発力発揮の疲労が残っていると思います。また外傷もあったとか。1人氣が不調のジンクスまでも軽く吹き飛ばしてくれましたが、有馬記念は逆にファン投票1位で当日1人氣は連対するというジンクスがあります。このジンクスを破ってくれることを期待します。

そこで私は「強い牡馬6歳世代を重視」という今年のモットーから6歳を軸に考えます。超サイン見破れの掲示板にはその後押しとして、以下の書き込みがありました。

<http://www60.tcup.com/6005/kimura.html>

6歳以上馬をねらえ 投稿者：淀競馬場の馬場叩き

投稿日：12月18日(月)11時15分23秒

来年の有馬記念は馬齢から定量へと斤量が変わります。長年馬齢重量で行われる変なG1として有名な競走で馬齢重量の変化する境目で有利な4歳馬が活躍してきたレースでもあります。ただ発表された以上、来年の規定が重要なのでなぜそうなるかを考えてみてもいいかもしれません。

来年斤量規定が変わった競走はマイルCSがあります。4歳55キロ、5歳以上57キロ、牝馬2キロ減。これがこれまでの規定でしたが、来年3(4)歳56キロ、4(5)歳以上57キロ、牝馬2キロ減となり、現4歳馬は1キロ増となります。

つまり4歳馬と5歳以上馬の力の差が少なくなったための処置ととれば今年斤量が2キロ差のままで出走できた同レースで4歳馬がワンツーとなってもしかたがなかったのです。

有馬記念をどうとるかは解釈の分かれるところではありますが馬齢重量を定量規定風に表現すれば、4歳55キロ、5歳57キロ、6歳以上56キロ、牝馬2キロ減。となり、これが来年、3(4)歳55キロ、4(5)歳以上57キロ、牝馬2キロ減となります。これらを比べて能力を認められ斤量を来年増やされる世代がいるはず。そうです現在6歳を超える馬たちです有馬記念では6歳以上馬を狙ってみるのが斤量規定から推察できます。

ということで最強世代である上に、今年限りの馬齢戦の恩恵の□1kgを受けることから本命は6歳牡馬キングヘイローに打ちます。スペシャルウィーク、セイウンスカイ、グラスワンダーの最強世代の同期生。その血統的背景には素晴らしいものがあります。G1勝ちが高松宮杯では種牡馬入りにはあまりに寂しいものがあります。ここは引退レース。ここで勝っても年度代表馬はオペラオーで揺るぎませんから昨年みたいなややこしい話にはなりません。一発大駆けを期待できるのはこの馬をおいて他にありません。単勝をまず買います。そして相手も6歳牡馬で昨年オペラオーと接戦をしたツルマルツヨシ。ほぼこの1点でしょう。なーんて勝負しないのでお気楽に推奨しております。

◎キングヘイロー ○ツルマルツヨシ

中山大障害は◎ゴーカイで間違いなし。

阪神ラジオたんぱ賞も◎クロフネと○ジャングルポケットで決まり。クロフネとジャングルポケットのどちらが勝つか？

クロフネ	-1.5	-0.2	+0.5	AAA
ジャングルポケット		-1.0	+0.4	BBB
アグネスタキオン			-2.6	

クロフネはまだまだ成長途上の印象。タイムの急上昇ぶりからもそれがうかがえる。前走なんかはほとんど持ったまんまだ。小学校の運動会にインター杯選手が入ったみたい。

未知数がジャングルポケット。札幌3歳Sのレベルの高さは相当前から言い続けてきた。それがタガノテイオー、テイエムオーシャンで証明された訳だが、3歳の夏の時点で1分50秒を切るなんて信じられない。どれだけ強いのか？休み明けと坂は大丈夫か？不安はあるがなにせ潜在能力が抜けている。この2頭の一騎打ち。

アグネスタキオンは年が明けてからだろう。勝てば95年のロイヤルタッチの再現だが、900万クラス時計揭示馬が相手ではそれも難しいと思う。ただこれも兄同様クラシックに乗るのは間違いない。とに

かく来年のダービーを占う意味でも朝日杯よりこちらが上だ。

	期 間	防衛週数	本紙名
初代	平成 7 年桜花賞～平成 8 年桜花賞	1 7	T P
二代目	平成 8 年皐月賞	1	へな
三代目	平成 8 年天皇賞・春～平成 8 年NHKマイル	2	四国の井崎
四代目	平成 8 年高松宮杯～平成 8 年ダービー	3	T P
五代目	平成 8 年安田記念～平成 8 年エリザベス女王杯	6	へな
六代目	平成 8 年マイルC S	1	トゥインクルダンディ
七代目	平成 8 年ジャパンカップ～平成 8 年朝日杯 3 歳 S	3	T P
八代目	平成 8 年スプリンターズ S～平成 9 年スプリンターズ S	2 1	トゥインクルダンディ
九代目	平成 9 年有馬記念～平成 10 年フェブラリー S	2	ドロンジョ
十代目	平成 10 年桜花賞～平成 10 年ジャパンカップ	1 5	T P
十一代目	平成 10 年阪神 3 歳牝馬 S～平成 12 年桜花賞	2 7	トゥインクルダンディ
十二代目	平成 12 年皐月賞～平成 12 年天皇賞春	2	ラッキー
十三代目	平成 12 年NHKマイルカップ～平成 12 年ダービー	3	へなりん
十四代目	平成 12 年安田記念～平成 12 年マイルC S	8	ラッキー
十五代目	平成 12 年ジャパンカップ	1	ライスシャワシャワ
十六代目	平成 12 年阪神 3 歳牝馬 S～平成 12 年朝日杯 3 歳 S	2	T P
十七代目	平成 12 年有馬記念～		ラッキー

第 4 5 回 有馬記念

					16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
					メイショウオウドウ	アメリカンボス	アドマイヤボス	メイショウドトウ	タイワテキサス	ステイゴールド	キングヘイロー	ゴイングスズカ	ユースエイトツプラン	テイエムオペラオー	トホウシデン	ジョービッグバン	ナリタトップロード	ホットシークレット	マチカネキノホシ	ツルマルツヨシ	馬 名
					河内	江田照	武豊	安田康	蛭名	後藤	柴田善	芹沢	中館	和田	田中勝	山田和	的場	横山典	岡部	藤田	騎手
								△						◎	△	▲	△	○	△		T P
								▲						◎	△		△			○	ライスシャワ
							▲	△			△			◎	△		○				心配御無用!
								▲		△				○			◎	△	△		トゥインクルダンディ
								△						◎	△		△	◎			洋二郎
							△	△	○	◎				▲	△				△		メーブルズ
							△	○						◎		▲				○	おけらくん

	有馬	フェブ	高松	桜花	皐月	天春	NHKマイル	オークス	優駿	安田	宝塚	スプリ	秋華	菊花	天秋	エリザベス	マイル	JCダ	JC	阪神	朝日
ラッキー	○				○	○	○	○	○						○	○			○	◎	
TP					○	○	○	○	○						○	○					
ライスシャワ		○			○	○	○	○	○						○	○				○	
心配御無用!		○			○	○	○	○	○						○	○			◎		
トゥインクルダンディ		○			○	○	○	○	○						○	○					
へなりん	○	○			○	○			○								○			○	
洋二郎	○				○	○			○								○				◎
メーブルズ		○	☆												○						
ミスターX						○		○					○								
おけらくん						○							○								
FELA	○																				
ドロンジョ	○																				

○...～20倍 ◎...20～50倍 ☆...50倍～

次号はフェブラリーS号です。